



# College report

vol.14  
2016.10

## 東京聖栄大学報



管理栄養学科ヘルシーメニューコンテスト  
＜関連記事6ページ＞



食品学科フィールド研修



体育祭＜関連記事10ページ＞

### ● C O N T E N T S ●

学長挨拶／大学トピックス／卒業式・入学式……………	2・3
研究……………	4・5
管理栄養学科・食品学科の活動……………	6・7
学生支援センターの活動／地域共創／就職……………	8・9

学友会／後援会・聖栄会／人事……………	10・11
平成27年度決算報告／創立70周年記念事業募金 ……	12・13・14
大学附属わたなべ幼稚園／大学附属調理師専門学校……	15
大学トピックス／学生募集要項……………	16

## 学長挨拶



学長  
松本 信二

本年は四年制大学として発足以来12年目を迎えております。この間徐々にはありますが充実度を増し、健康・栄養・食品の教育に関わる大学としての知名度も増しているように実感しております。それには指導に当たっている先生方の努力は勿論ですが、何と云っても学生達の頑張りが一番の要因であることは論をまちません。管理栄養士の国家試験では合格率が昨年の100%に続いて本年も95%と好成績を挙げており、また就職率についても両学科ともここ数年間は安定した高い数字を維持していることがその結果として現れているものと思われま。勿論この現状に満足している訳ではありません。大学教育の質の向上が叫ばれています。これに対して教員は教育に関わる学内外の研修会への参加や教員同士がお互いの授業を参観して意見を交換するなど教育力の強化を重ねております。学生諸君にもなるべく早い段階で将来の目標を定め、それに向かってなお一層勉学に励むよう期待したいものです。また、学ぶ環境を充実させるためには保護者の皆様のご協力や、社会における卒業生の活躍を知ることによって学生にとって励みになることと思ひます。より充実した大学に発展できるよう関係各位の一層のご協力をお願いする次第です。

## 大学トピックス

### 葛飾区との防災協定

平成28年4月28日に、学校法人東京聖栄大学と葛飾区は、葛飾区内に災害が発生した場合の区民、区内在学在勤者等の安全確保、生活復興等を図るため、平時より協働により、その予防対策、応急対策、復旧対策を推進することを目的とした、『災害時等における相互協力に関する協定』を締結しました。

締結式は、葛飾区役所内で行われ、福澤美喜男理事長と青木克徳葛飾区長が協定書に夫々署名をされた後、福澤理事長より、「本学は、食に関する事業を中心に地域への協力活動を推進している。災害時等の相互協力においては、在学生の安全確保が第一となるが、本学が強みとする栄養・食に関する分野を中心に地域の方々への支援を行いたい。」旨の挨拶がありました。

更に青木葛飾区長より、「災害時等における相互協力は、平時での協力体制が重要である。今回の協定締結により、災害発生時において有効な相互協力が行われることを期待したい。」とのご挨拶を戴きました。



### 炊出し訓練実施

9月5日（月）に、防災週間における葛飾警察署と連携し、本学学生代表及び教職員の防災に対する意識と技術の向上を図る事を目的とした防災訓練を実施しました。

葛飾警察署より、大地震発生時の対処方法や日頃の備えについての講演及び災害救助時に使用する機材等の実演をして頂きました。

また、植松准教授と吉田講師のご指導のもと、本学の防災備蓄品を使用した実習訓練（カレーとご飯の調理）を行い、実際に防災備蓄品を体験する場が設けられ、炊出し機材の習熟及び防災力の向上につながる有意義な訓練となりました。



実技の様子

## 卒業式・入学式

### 平成27年度 卒業式

平成27年度卒業式が、去る平成28年3月15日（土）わたなべ記念館において行われました。

新しい門出を迎えたのは、管理栄養学科81名、食品学科80名の161名でした。

式は学位記授与で始まり、表彰は学長賞（最優秀賞）1名、優秀賞5名が受賞しました。併せて全国栄養士養成施設協会理事長賞、日本フードスペシャリスト協会会長賞、食品科学教育協議会会長賞の授与も行われました。

続いて松本信二学長の式辞では、「希望に胸を膨らませながら入学し、はや四年の歳月が過ぎました。諸君にとって稔りの多い年月であったことでしょうか。卒業式というのは一つの節目ではありますが、決して終着点ではありません。社会へ旅立つ出発点であり、これから本当の勉強が始まるものと心得てください。」

また、このことは、本学の校訓でもある「熱意・誠意・創意」の三意に通ずることであると社会に出る心構えについて語られました。

最後に、「これから最も大切なことは健康を維持することです。どんなに良い仕事をしていても健康を損なっては台無しです。皆さんは「健康栄養学部」の卒業生であることを自覚し、自己管理に努めながら充実した日々を送ってください。」と結ばれました。



### 平成28年度 入学式

4月1日（金）、快晴の中、平成28年度入学式が東京聖栄大学わたなべ記念館において挙行されました。

今年度は、健康栄養学部管理栄養学科109名、食品学科84名の新生が入学しました。

開式の辞に続き松本信二学長の式辞では、本学の沿革と建学の精神について触れ、この精神を踏まえ社会に役立つ、実学に沿った教育を実践していることや、学生生活の指針となる校訓の「熱意・誠意・創意」の三意について「何事にも意欲的に、積極的に取り組み、常に相手の気持ちを思いやり、知識と技術・技能を生かし、既存の事柄に拘らず、新しい何かを作り出すことへの挑戦である」と話されました。

また、健康栄養学部として両学科に共通していることは、基本が「食」にあり、その教育目標は「食」を通して広く国民の健康維持に資する人材の育成にあると述べられました。

最後に、本学で学ぶ4年間で有意義な学生生活になることを願っていると結ばれました。



# 研究

## 科学研究費助成事業



### 東アジア調査に基づくベーチェット病、強皮症の特異的HLAが病態に関わる機序の研究 基盤研究B（海外学術調査）

研究代表者：竹内 二士夫教授

ベーチェット病は日本やトルコに多い原因不明の炎症疾患で、シルクロード病とも言われています。強皮症は皮膚の硬化や特異的な自己抗体を特徴とする代表的な自己免疫性疾患です。二つの疾患にはHLA（組織適合抗原）と呼ばれる遺伝子が関係している事がわかっていますが、HLAが病態に関与する機序は明らかではありません。またHLAには多くの型があり、その分布は民族により異なっています。今回の研究は、疾患にかかわるHLAの型を疫学的に明らかにし、病態形成における役割を計算化学的、免疫学的に検討する研究です。この研究で提案している研究方法は、食物アレルギーの研究や、薬剤の開発にも役立つ可能性があると考えています。

### HLA-ペプチド親和性の網羅的計算法の開発とベーチェット病の病因解明への応用

#### 基盤研究C（一般）

研究分担者：竹内 二士夫教授（代表：石川 岳志長崎大学准教授）

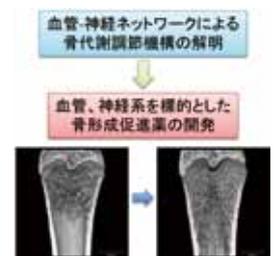
ベーチェット病の遺伝的要因としてHLA（組織適合抗原）が考えられていますが、HLAが病態に関与する機序は明らかではありません。HLAはペプチド（短いタンパク）を結合してそれをリンパ球に提示する事で、体内の免疫反応と深くかかわっています。疾病に関連するHLAがどのようなペプチドを特異的に提示するのかを調べる事は、病態形成の研究に役立つと考えられます。このHLAとペプチドの反応を計算化学的に推定する事は非常に時間のかかる作業です。今回の研究は多くのペプチドとHLAとの反応を計算化学的スクリーニングする効果的な方法を開発し、ベーチェット病におけるHLAの役割や、病因ペプチドを明らかにしようというものです。

### 臨床応用を目指した骨組織における神経-血管機能の解明

基盤研究C（一般）研究代表者：福田 亨准教授

近年の高齢化社会の進展に伴い、骨粗鬆症をはじめとする骨関連疾患の克服は喫緊の課題であるが、医薬応用につながる骨代謝調節の分子機構の全貌は不明のままです。我々はこれまでに骨内の感覚神経形成が骨量の維持に重要であることを見出しました<sup>1)</sup>。一方、神経系は血管系と密接に相互作用していることが知られています。そこで本研究では骨代謝における血管-神経ネットワークの機能解明を行い、複雑かつ巧妙な調節機構の一端の解明を目指したいと考えています。

<sup>1)</sup> Fukuda et al. Sema3A regulates bone-mass accrual through sensory innervations. *Nature* 2013 497:490-493



### 「栄養素の代謝が睡眠を含む生体リズムに与える影響の解明」

若手研究（B）研究代表者：矢島 克彦助教

矢島克彦助教の研究課題「飽和脂肪酸、または一価不飽和脂肪酸の摂取がエネルギー代謝と睡眠構造に与える影響」が、平成27年に若手研究（B）採択され、2年目をむかえました。研究概要、進捗状況は以下の通りです。

栄養素代謝と生体リズムは、多くの分子内機構を共有している。栄養学領域からのアプローチによって生体リズムを制御することが可能となれば、現代人の健康維持・増進に大きく貢献できると考えられます。本研究はその第一段階として、異なる脂肪酸の摂取がエネルギー代謝、および生体リズムに与える影響を検討しています。

## 二国間交流事業共同研究

### 「高効率青果物流通システムの構築に関する日中両国間比較研究」研究代表者：藤島 廣二（客員教授：専任）

独立行政法人日本学術振興会が実施する二国間交流事業共同研究として藤島廣二客員教授の「高効率青果物流通システムの構築に関する日中両国間比較研究（中国CASSとの共同研究）」が採択され、2年間が経過しました。昨年度の研究概要及び進捗状況は以下のとおりです。

昨年6月に藤島客員教授、神田健策弘前大学名誉教授の2名が中国杭州大学にて、中国の流通システムの改善に資することを目的に、日本の卸売市場流通システムと農協共同出荷システムに関する講演を行いました（写真参照）。また、昨年度並びに一昨年度の研究成果を本学「紀要（第8号）」に投稿し、9論文の掲載を得ました。

なお、本年度は最終年度にあたるため、日本、中国両国での研究会実施を予定しています。



## 平成28年度 特別研究・共同研究

本学教育研究費取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしています。本年度の特別研究・共同研究計画申請について、以下の表の通り採用決定しました。

平成28年度 特別研究・共同研究計画申請者一覧

代表申請者	研究別	研究課題
橋場 直彦教授	共同	青年期女子における BMI、体脂肪率、腹囲に及ぼす運動習慣、食習慣および肥満・糖尿病・高血圧の家族歴の影響（第5報）
荒木 裕子教授	共同	発酵ソーセージ・ネームの研究（3）
鈴木 三枝教授	特別	「幼稚園児の食育事業」について
新村真由美准教授	共同	食育サポーター事業 in 葛飾区
吉田 光一講師	共同	ダリア塊根の機能性に関する研究（2）
片山 佳子講師	特別	落花生を用いた新規味噌の開発
矢島 克彦助教	特別	栄養素代謝と睡眠時脳波の関連に関する研究 （飽和脂肪酸、または一価不飽和脂肪酸の介入研究）
大内 和美助教	特別	中温加熱処理による植物性食品の品質変化 －中温加熱処理によるキノコ類の5'-ヌクレオチドと遊離アミノ酸生成量の変化－
吉田真知子助手	特別	幼児を持つ保護者の食教育におけるグループ体験学習が行動変容に与える影響

## 平成27年度特別研究・共同研究発表会

平成28年7月2日（土）、平成27年度特別研究・共同研究発表会を開催しました。矢島克彦助教等の教員による特別研究「栄養素代謝と睡眠時脳波との関連に関する研究」、荒木裕子教授等による共同研究「発酵ソーセージ・ネームの研究（2）」を始めとした計11題の口頭発表がなされ、質疑応答も活発に行われました。



平成27年度 特別研究・共同研究計画申請者一覧

代表申請者	研究別	研究課題
橋場 直彦教授	共同	青年期女子における肥満の危険因子に関する検討－特に運動習慣、食習慣、生活習慣および生活習慣病の家族歴を中心に－（第5報）（H27・28年度）
荒木 裕子教授	共同	発酵ソーセージ・ネームの研究（2）
鈴木 三枝教授	共同	幼児期の食育事業について
岡本 直也教授	特別	多変量標本積率を用いた検定手法の開発
新村真由美准教授	共同	食育サポーター事業 in 葛飾区
吉田 光一講師	共同	ダリア塊根の機能性に関する研究（1）
片山 佳子講師	特別	黒大豆を用いた新規味噌の開発
矢島 克彦助教	特別	栄養素代謝と睡眠時脳波の関連に関する研究 （飽和脂肪酸、または一価不飽和脂肪酸の介入研究）
大内 和美助教	共同	キノコの消化酵素阻害活性について タモギタケのリパーゼ阻害成分の検討及び雌性 Cr1:CD1（ICR）マウスを用いた in vivo での脂質代謝に及ぼす影響
大内 和美助教	特別	中温加熱処理による植物性食品の品質変化 －中温加熱処理によるキノコ類の5'-ヌクレオチドと遊離アミノ酸生成量の変化－
海老澤隆史助手	共同	酵母における $\alpha$ -アミラーゼ遺伝子の発現制御に関する研究 ～遺伝子組み換え方法の確立～

## 管理栄養学科の活動

# 2015-2016

### 「NPO法人 中・西会」へ協力

平成27年度NPO法人 中・西会との『連携・協力に関する協定書』に基づき、＜高齢者の交流と食育＞を主旨とする講演会と公衆栄養学研究室及び給食管理第2研究室のゼミ生が、地域の皆さんの健康のために考えた準備と工夫について講演が行われました。



### 平成28年度新入生宿泊研修

平成28年4月4日（月）～5日（火）2日間東京スポーツ文化館にて、グループワークやレクリエーションを通じて、管理栄養士の資格や国家試験対策の重要性などについて理解を深めました。

### 食育読み聞かせ会

平成28年6月19日（日）に、葛飾区中央図書館にて「食育読み聞かせ会」が行われました。葛飾区との包括連携協定を踏まえ、地域の子どもたちを対象に食育の一環として、給食経営管理研究室ゼミ生6名が、読み聞かせや手遊びを披露して子どもたちとの交流を深めました。



### 臨地実習報告会

平成28年6月25日（土）に、臨地実習（病院・福祉施設）の報告について実施され、4年次生が病院や福祉施設での実習内容や実習におけるポイントなどについて3年次生・教職員と情報共有を行いました。

### かつしかの元気食堂事業

平成25年度より本学と葛飾区は、身近な飲食店で栄養バランスの整った食事を摂れるよう、外食の食環境を整備や健康を維持・増進を図る推進事業を提携しています。

平成28年7月16日（土）にかつしかの元気食堂2周年記念に披露するメニューコンテストが学内にて行われました。

管理栄養学科3年次生が考案した8種類の献立が選ばれ、9月22日（木）「かつしかの元気食堂2周年記念」に区民の方々に試食して戴きました。



#### 理事長賞 メニュー

- ・雑穀米飯
- ・松茸と三つ葉のすまし汁
- ・鰹の彩り甘酢あんかけ
- ・かぼちゃサラダ
- ・カレー風味シリシリ
- ・きな粉黒蜜プリン



## 食品学科の活動

## 2015-2016



### 平成27年度卒業論文発表会

2月6日に卒業論文発表会が開催されました。口頭発表39演題 ポスター発表26演題 計65演題の発表が行われました。

### 1年次都内研修

2月24日～25日の2日間、築地市場・大田市場に足を運び、明治（製菓メーカー）、キッコーマン（醤油メーカー）を見学し、食品の製造について学びました。



### 平成28年度新入生宿泊研修

新入生84名を迎え入れ、4月4日～5日の2日間、新入生宿泊研修が栃木県日光市にて実施され、太古食品工業や日光おかき工房の見学を行いました。

### 地域貢献活動

わんぱく相撲葛飾区大会にて総合司会や副審、模擬店（すいとん汁・カレーライス・ハヤシライス販売）として協力しました。



### フィールド研修

長野県伊那市にて、伊那食品、サントリー（飲料メーカー）とシャトレゼ（食品メーカー）での見学、農業実習を行いました。また、プレフィールド研修を、希望者対象に5月～7月中に行いました。

### 復興支援活動

風評被害に悩む福島県塙町が運営するアンテナショップ（ダリちゃんショップ）が本学学生と協力運営していることが、3月15日東京新聞に掲載されました。

## 学生支援センターの活動

### 生活支援・就職支援関係行事一覧

日時	行事
平成27年10月5日	防火・防災訓練
平成27年10月15日・29日	3年次生対象就職対策DVD上映会
平成27年11月16日	1年次生対象キャリア支援ガイダンス
平成27年11月19日	3年次生対象SPI対策講座
平成27年11月24日・27日	学生と教職員との意見交換会
平成27年11月26日	3年次生対象リクルートガイダンス
平成27年11月30日	2年次生対象・人生設計とライフワークバランス講座
平成27年12月3日	3年次生対象グループディスカッション講座
平成27年12月8日・17日	4年次生による就職活動体験講話
平成28年1月14日	公務員対策論文講座
平成28年2月9日～10日	管理栄養士関係企業学内業界説明会
平成28年2月23日～24日	食品関係企業学内業界説明会
平成28年4月7日	3・4年次生対象食品衛生監視員受験ガイダンス
平成28年4月20日	3・4年次生対象公務員栄養士受験ガイダンス
平成28年4月21日	3年次生対象エントリーシート対策講座
平成28年4月22日・25日	1年次生対象「大学生基礎力レポート」実施
平成28年5月17日	食品関係企業学内説明会
平成28年5月18日	学内奨学生授与式
平成28年5月19日	3年次生対象就職模試「START」実施
平成28年5月26日	3年次生対象就職模試「キャリアアプローチ」実施
平成28年6月6日	1年次生対象「大学生基礎力レポート」解説ガイダンス
平成28年6月16日	3年次生対象『就職模試解説ガイダンス』
平成28年6月23日	3年次生対象『就職活動のためのマナー講座』
平成28年6月27日	1年次生対象『マナー講座』
平成28年7月5日	直営給食施設管理栄養士職希望者ガイダンス
平成28年7月6日	大学院進学希望者ガイダンス
平成28年7月13日	1～3年次生対象公務員教養試験解説ガイダンス

## 学生支援・就職支援



防火防災訓練



学生と教職員との意見交換会



学内業界説明会



就職活動のためのマナー講座

## 地域共創・食育イベント

### (一社)全国栄養士養成施設協会講演事業

平成27年度（一社）全国栄養士養成施設協会後援事業として「あなたの身体、覗いてみませんか？」を実施しました。『聖栄葛飾祭』において、来場者を対象にした身体組成と骨密度の測定を実施しました。



### (公社)日本フードスペシャリスト協会共催事業

平成27年度（公社）日本フードスペシャリスト協会共催事業として「見直そう東京食材！東京都の食材を使った加工食品・料理メニュー展」を実施しました。「東京都食育フェア」や『聖栄葛飾祭』で出店しました。



### 地域美化プランター草花の植付

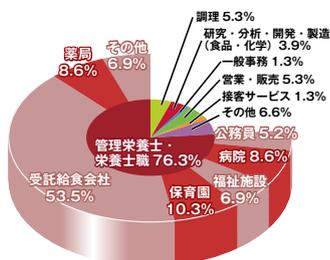
葛飾区との「環境美化に関する協定」に基づき年2回、葛飾区から草花のポット苗や培養土等の資機材が支給され、東京聖栄大学の学生・職員が、四季折々の花が咲くよう、プランターを維持管理する活動をしています。



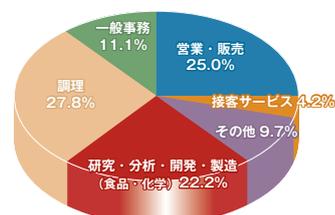
## キャリア・就職データ

### 8期生 (平成28年3月卒業生)の 就職状況(就職率98.0%)

#### ●管理栄養学科(就職率97.4%)



#### ●食品学科(就職率98.6%)



職種別就職先グラフ

### 平成28年3月卒業生就職結果

第8期生(平成28年3月卒業生)の就職率(就職希望者比)は、学部合計で98.0%となりました。これは文部科学省集計の全国の大学卒業生の就職率97.3%を上回り、開学以来最高値の結果となりました。学科別には、管理栄養学科が97.4%、食品学科が98.6%となりました。また、実質就職率(就職者/卒業生-大学院進学者)を見ると、93.1%であり、就職希望者比の就職内定率とともに開学以来最高値の結果となりました。

本学の就職活動は、学生・保護者・教員・学生支援センターの連携により行っています。卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

#### 進路・就職結果

	管理栄養学科	食品学科	合計
就職者	76	72	148
就職未内定者	2	1	3
<就職希望者>	<78>	<73>	<151>
進学者	1	1	2
その他	2	6	8
卒業者	81	80	161

### 平成29年3月卒業生就職内定状況

(株)リクルートキャリア等の就職情報会社によると、今年度の大卒求人倍率は1.74倍と昨年(1.73倍)と同水準の数字が発表されています。今年度から企業の採用選考活動が8月開始から6月開始に変更され、昨年度と比較して就職活動の短期集中化が懸念されていたが、本学の4年次生の就職内定状況(9月15日現在)は、学部合計で75.0%と昨年度比プラス20.4ポイントになりました。学科別には、管理栄養学科が65.3%で昨年度比プラス3.6ポイント、食品学科が84.0%で昨年度比プラス36.4ポイントとなり、特に食品学科が昨年に比べ大きく改善されています。

しかしまだ内定を得ていない学生も多数いるため、本学では今後も全力で就職支援を継続して行いますので、関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

## 主な就職・進学先

#### 【就職】

##### <管理栄養士・栄養士職>

- (公務員) 東京都栄養士、神奈川県栄養士、東京都板橋区栄養士
- (病院) (独) 国立病院機構関東信越グループ、(医社) 成仁 成仁病院、(医) 明星会 東条病院
- (福祉施設) 湖山医療福祉グループ、(社福) 勝曼会 特別養護老人ホームあすみの丘、(社福) 仁生社 特別養護老人ホーム水元園
- (保育園) (社福) 愛光学園 愛光保育園、(社福) I C A 市場保育園、(社福) 江東園 江戸川保育園、(学) 滋慶学園 にじのいるか保育園千石、(宗) 日枝神社 山王保育園
- (給食会社) エムサービス(株)、(株)グリーンハウス、西洋フード・コンパス

- ループ(株)、日清医療食品(株)、富士産業(株)、(株)メフォス
- <研究・分析・開発・製造(食品・化学)> イニシオフーズ(株)、カネマツ食品工業(株)、(株)サンデリカ、(株)シャトレーゼ、(株)叙々苑、(株)爽快健康、(株)ドンク、(株)紅谷、(株)武蔵野
- <調理> (株)大戸屋、(株)きちり、銀座アスター食品(株)、タリーズコーヒージャパン(株)、(株)トラジ、(株)ホテルグランドパレス、ラムラ(株)
- <一般事務> 宇都宮農業協同組合、東亜商事(株)、(株)ユニマットライフ
- <営業・販売> (株)伊藤園、(株)ヴィ・ド・フランス、(株)こだわりのや、東京デリカフーズ(株)、T O K Y Oフレッシュ(株)、ハラダ製茶(株)、まいばすけっと(株)、(株)美濃吉食品
- <接客サービス> (株)天津飯店、(株)山の上ホテルビジネスサービス
- 【進学】 千葉大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学

## 公開講座

平成28年度は、実践テーブルマナー講座(中富貴仁非常勤講師)、キッチンハーブ講座(荒木裕子教授)、シニアのための健康栄養講座(星野浩子助教)、日本の食文化講座(吉川恵則特任教授)の4講座を実施し、いずれの講座も好評を博しました。12月には附属専門学校の調理実習講座を実施予定です。



キッチンハーブ講座

## 地域共創・食育イベント行事一覧

日時	行事
平成27年10月12日	かつしかスポーツフェスティバル
平成27年10月17日	新小岩駅東北広場まつり2015
平成27年10月14日～15日	地域美化プランター秋花苗植付
平成27年10月22日	地域との意見交換会
平成27年11月7日～8日	『聖栄葛飾祭』(一社) 全国栄養士養成施設協会講演事業
平成27年11月7日～8日	『聖栄葛飾祭』(公社) 日本フードスペシャリスト協会共催事業
平成27年11月21日～22日	かつしかフードフェスタ2015
平成28年2月27日	ボランティアの会の新小岩駅南口献血活動
平成28年3月9日	地域美化プランター春花苗植付
平成28年3月13日	かつしかふれあいRUNフェスタ2016
平成28年5月22日	わんぱく相撲葛飾区大会
平成28年5月28日	公開講座(レストランオーナーが語る実践テーブルマナー講座・非常勤講師 中富 貴仁)
平成28年6月19日	食育読み聞かせ会
平成28年6月25日	公開講座(キッチンハーブ講座・食品学科 教授 荒木 裕子)
平成28年7月23日	公開講座(シニアのための健康栄養講座・管理栄養学科 助教 星野 浩子)
平成28年8月27日	新小岩駅前祭り
平成28年9月17日	公開講座(日本の食文化講座・食品学科 特任教授 吉川 恵則)

## 学友会活動

### 会長挨拶



学友会会長 管理栄養学科3年  
日下部 夏樹

今年度、学友会会長に就任しました管理栄養学科3年の日下部夏樹です。皆様のご支援・ご協力のもと今年も学友会総会、新入生歓迎会、体育祭を無事終えることが出来ました。この場を借り

てお礼申し上げます。

11月に行われる「聖栄葛飾祭」では、学友会はもちろん、各クラス・団体ごとに様々な企画を用意しますので、ぜひみなさんお越しください。

学友会は、学生主体の組織ですが、本学の学生をはじめ、地域の方々など多くの皆様の助けがあって、運営することができています。よりよい学校になるよう学友会一同頑張りますので、これからもあたたかいご支援よろしくお願いたします。

### 学友会総会、部・同好会説明会

4月14日（木）学友会総会、部・同好会説明会が開催され、総会では新役員の選出、平成27年度決算報告及び平成28年度予算案等が承認されました。部同好会説明会では、各部が新入生に対して、趣向を凝らした活動内容のアピールや顧問の先生からも新入生に向けて各部・同好会の特徴について説明があり、本学の学生団体について理解を深める機会となりました。



### 新入生歓迎会

4月28日（木）には新入生歓迎会が開催され、特別講演として「公益財団法人日本花の会」主任研究員（樹木医）和田博幸氏による『桜がつくる日本の文化』と題した講演が行われました。講演内容は様々な桜の種類の説明から日本の食文化との繋がりについて講演が行われ、新入生は真剣に聴講していました。

特別講演後には、抽選会が行われ、大いに盛り上がり、新入生には先輩と交流する良い機会となりました。



### 体育祭

6月3日（金）、船橋グラウンドにて体育祭が開催されました。3年次生の管理栄養学科・食品学科合同のクラスが優勝しました。当日は出席率100%のクラスが1クラスあり、優勝クラスを含め、聖栄会より賞金が授与されました。学生間で交流を深める一日となりました。



### 聖栄葛飾祭

11月12日（土）、13日（日）の両日に『聖栄葛飾祭』が開催されます。今年度のテーマは「食の祭典～say yeah festival～」に決定しました。今年度も葛飾区の後援や、地元自治会の協力も得て、地域密着の大学祭として開催します。多くのおお客様のご来場を心よりお待ちしております。



### 平成28年度 部・同好会一覧

部名	学生代表
食品加工研究部	管理栄養学科 3年 大塚 さつき
調理実習部	管理栄養学科 3年 門井 沙樹
硬式テニス部	管理栄養学科 3年 島田 菜々
合気道部	管理栄養学科 3年 三島 早織
バレーボール部	食品学科 3年 新井 祐輔
バスケットボール部	食品学科 3年 加藤 拓弥

同好会名	学生代表
ダンス同好会	食品学科 3年 目羅 康平
バドミントン同好会	管理栄養学科 2年 岡田 光也
軽音楽同好会	食品学科 2年 原 正樹
あぐり	食品学科 3年 田中 勝偉
ソフトテニス同好会	管理栄養学科 2年 広住 明日香
フットサル同好会	食品学科 3年 小林 壮
野球同好会	食品学科 3年 猪野 舜平
聖栄ピアヘルピングワークス	管理栄養学科 3年 淡島 凧沙
パン同好会	食品学科 2年 木下 蘭琳
吹奏楽同好会	食品学科 3年 羽鳥 結衣
サッカー同好会	食品学科 3年 海野 勇人
伝統洋菓子研究同好会	管理栄養学科 3年 江川 葵
ボランティアの会	管理栄養学科 2年 野内 瑞希

## 後援会の活動



後援会会長  
福本 雅則

4月1日、入学式終了後の後援会総会とともに本年度の後援会活動が例年通りスタートいたしました。本年度も円滑で効果的な活動に向けて、教職員の皆様のご尽力、そして会員の皆様のご理解とご協力で諸活動がすすんでいるものとお礼申し上げます。

後援会では、ご存知の事とは思いますが、秋の教職員との懇親を兼ねた情報交換会を始め、学友会活動への補助、学生生活をより充実させられるよう、掲示板等の備品や就職関連指導のための資料の整備への協力、年2回の後援会報の発行を通じた活動内容等についての情報発信などを行っております。今後も皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

また、教職員の皆様の学習環境の整備や指導内容の向上への努力と工夫に少しでも応えられる後援会活動を今後も目指したいと思っております。

### 後援会の主な活動

#### 平成28年度

- 保護者懇談会開催（10月8日（土））  
保護者と教職員の情報交換会
- 後援会会報の発行（年2回発行予定）  
10月1日付  
3月15日付
- 会議の開催  
定期総会 4月1日（金）  
役員会 6月4日（土）  
3月上旬予定

## 聖栄会の活動



聖栄会会長  
高橋 興亜

平成28年6月5日（日）東京聖栄大学において聖栄会定期総会が開催されました。総会に先立ちまして、理事長の福澤美喜男先生より、昨年の秋の叙勲で旭日中綬章を受章されたことの報告とお礼の言葉がありました。その後、総会議事に移り平成27年度事業報告、平成28年度事業計画（案）が全会一致で可決承認されました。今年度は各分野から委員をお願いし、会の充実を図ることといたしました。又、新支部の設立に引き続き力を注ぎたいと思っておりますので、諸先生のご支援、同窓の皆様のご協力をお願いいたします。総会終了後、会場を移し学長の松本信二先生を始め関係の先生を囲み懇親会を開催しました。

今年は同窓の方々も多く集まり、近況報告の中で頑張っている様子がひしひしと感じられました。今後のご活躍をお祈りいたします。

### 聖栄会の主な活動

#### 平成28年度

- 4月 「聖栄会だより」の発行
- 5月 体育祭の協賛
- 6月 定期総会並びに懇親会開催
- 10月 第28回 食文化研究会の開催
- 11月 大学祭への参加
- 3月 卒業生に記念品の贈呈

## 人事異動（順不同 敬称略）

### ●教員

<採用>平成28年4月1日付

教授 塩谷 敏明  
竹内二士夫（大学校医）

准教授 風見 公子  
福田 亨  
宮内 眞弓

助手（任期制）上浦沙友里

<昇任>平成28年4月1日付

助教 山本 直子

<退職>平成28年3月31日付

教授 井筒 雅  
助手（任期制）簡治由紀子

<非常勤講師（新規委嘱）>平成28年4月1日付

特任教授 柳瀬 昌弘  
（産業医・専門学校校医）

非常勤講師 三尾 忠男

平成28年6月1日付

非常勤講師 膳法 浩史  
都築 孝允

平成28年9月24日付

非常勤講師 池田 輝男

<退職>平成28年3月31日付

非常勤講師 福山 君子

（補職）

<研究倫理教育責任者>平成28年3月24日付

学部長 田所 忠弘

<毒物・劇物取扱責任者>平成28年4月1日付

准教授 鈴木 等

●職員

<採用>平成28年2月1日付

（臨時職員）

保健室 川名三枝子

平成28年8月24日付

図書館司書 峯浦 敏

<任命換：専任切替>平成28年4月1日付

図書館司書 佐久間浩恵

<配置換>平成28年4月1日付

事務部入試・広報課係長 矢野求美子

事務部学務課 坂本 優里  
（調理師専門学校兼務）

<兼務>平成28年4月1日付

事務部学務課 荒井美乃里  
（附属調理師専門学校所属）

<退職>平成28年3月31日付

審議役 小林 壯一  
（4月1日付 顧問就任）  
（臨時職員）

学務課 五月女てるみ

保健室 渡辺 羊子

図書館司書 和田 恵子

<昇任>平成28年7月1日付

事務部入試・広報課課長補佐  
（学生支援センター学生支援・就職支援課兼務）

岡田 修一（入試・広報課係長）

事務部学生支援センター学生支援・

就職支援課課長補佐心得

森田 悦子（学生支援・就職支援課係長）

事務部学務課主任 山本 浩作

事務部学生支援センター学生支援・

就職支援課主任（情報処理センター業務兼務）

富永 裕樹

## 平成27年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

本学の平成27年度末における財務の概況は、次のとおりです。

収入は、主な財源の学生等納付金収入は、入学定員充足率の高まりにより増加傾向にあり、経営努力による収入も増加しています。一方、支出は、人件費支出をはじめ、支出抑制による収支均衡を目標に財政健全化に努めており、27年度決算では、基本金組入前当年度収支差額（旧；帰属収支差額）は、9,500万円の収入超過（黒字）となり、5期連続で収入超過の実績を収めることができました。

## 1. 資金収支計算書

平成27年度の資金収支決算規模は、34億4,800万円となり、前年度比11億7,800万円減少しました。前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は20億9,900万円で、支出額は20億3,900万円となりました。この結果、翌年度繰越支払資金は14億9,000万円となり、前年度比6,000万円の増加となりました。

資金収支計算書（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）（単位 千円）

	科 目	予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,092,000	1,117,494	△25,494
	手数料収入	24,400	22,666	1,734
	寄付金収入	7,000	8,330	△1,330
	補助金収入	144,752	144,752	0
	国庫補助金収入	94,293	94,293	0
	都県補助金収入	49,111	49,111	0
	区市補助金収入	1,348	1,348	0
	資産売却収入	700,000	700,000	0
	付随事業・収益事業収入	9,500	13,891	△4,391
	受取利息・配当金収入	30,100	53,127	△23,027
	雑収入	32,680	37,279	△4,599
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	548,430	521,352	27,078
	その他の収入	24,091	24,605	△514
	資金収入調整勘定	△539,706	△544,727	5,021
	前年度繰越支払資金	1,349,433	1,349,433	
収入の部合計	3,422,680	3,448,202	△25,522	
支出の部	人件費支出	715,000	714,559	441
	教育研究経費支出	279,604	269,609	9,995
	管理経費支出	102,932	98,462	4,470
	借入金等利息支出	2,200	2,200	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	45,000	15,306	29,694
	設備関係支出	35,000	25,318	9,682
	資産運用支出	1,000,000	901,692	98,308
	その他の支出	21,797	24,109	△2,312
	〔予備費〕	10,000		10,000
	資金支出調整勘定	△22,551	△24,351	1,800
	翌年度繰越支払資金	1,221,478	1,409,079	△187,601
	支出の部合計	3,422,680	3,448,202	△25,522

## 2. 事業活動収支計算書（消費収支計算書を改正）

事業活動収入は14億円で、建物、機器備品などの減価償却額が含まれる事業活動支出は13億5,000万円であり、基本金組入額（4,700万円）を控除した当年度収支差額は4,800万円の収入超過となりました。（基本金組入後収支比率96.5%）前年度からの繰越収支差額は4億4,000万円の支出超過でしたが、翌年度繰越収支差額は3億9,200万円とやや支出超過額は減少しました。

事業活動収支計算書（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）（単位 千円）

	科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	1,092,000	1,117,494	△25,494
	手数料	24,400	22,666	1,734
	寄付金	2,970	3,730	△760
	経常費等補助金	144,752	144,752	0
	国庫補助金	94,293	94,293	0
	都県補助金	49,111	49,111	0
	区市補助金	1,348	1,348	0
	付随事業収入	6,500	10,605	△4,105
	雑収入	32,680	37,279	△4,599
	教育活動収入計	1,303,302	1,336,526	△33,224
	事業活動支出の部			
	人件費	710,370	718,956	△8,586
	教育研究経費	491,804	469,796	22,008
	管理経費	113,432	107,821	5,611
	徴収不能額等	0	4,060	△4,060
教育活動支出計	1,315,606	1,300,633	14,973	
教育活動収支差額	△12,304	35,893	△48,197	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	30,100	53,127	△23,027
	その他の教育活動外収入	3,000	3,200	△200
	教育活動外収入計	33,100	56,327	△23,227
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	2,200	2,200	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	2,200	2,200	0	
教育活動外収支差額	30,900	54,127	△23,227	
経常収支差額	18,596	90,020	△71,424	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	6,550	7,117	△567
	特別収入計	6,550	7,117	△567
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	1,000	2,065	△1,065
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	1,000	2,065	△1,065
	特別収支差額	5,550	5,052	498
	予備費	6,000	0	6,000
	基本金組入前当年度収支差額	18,146	95,073	△76,927
基本金組入額合計	△91,220	△47,239	△43,981	
当年度収支差額	△73,074	47,834	△120,908	
前年度繰越収支差額	△440,081	△440,081	0	
翌年度繰越収支差額	△513,155	△392,247	△120,908	

### 3. 貸借対照表

27年度末の資産総額は9,300万円増の98億4,400万円です。固定資産は2,500万円増の84億700万円になり、流動資産は6,800万円増の14億3,700万円となりました。負債総額は借入金返済などで200万円減少し10億1,600万円となりました。純資産は9,500万円増の88億2,800万円となり、財政としては好ましい状況です。

貸借対照表 (平成28年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,406,844	8,381,614	25,230
有形固定資産	5,740,691	5,909,161	△168,470
土地	1,889,400	1,889,400	0
建物	3,398,204	3,540,102	△141,898
その他の有形固定資産	453,087	479,659	△26,572
特定資産	417,906	316,214	101,692
その他の固定資産	2,248,247	2,156,239	92,008
流動資産	1,436,891	1,369,259	67,632
現金預金	1,409,079	1,349,434	59,645
その他の流動資産	27,812	19,825	7,987
資産の部合計	9,843,735	9,750,873	92,862

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	402,751	410,574	△7,823
長期借入金	97,760	109,980	△12,220
その他の固定負債	304,991	300,594	4,397
流動負債	613,320	607,707	5,613
短期借入金	12,220	12,220	0
その他の流動負債	601,100	595,487	5,613
負債の部合計	1,016,071	1,018,281	△2,210

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	9,219,912	9,172,672	47,240
第1号基本金	9,089,912	9,042,672	47,240
第4号基本金	130,000	130,000	0
繰越収支差額	△392,247	△440,081	47,834
翌年度繰越収支差額	△392,247	△440,081	47,834
純資産の部合計	8,827,665	8,732,591	95,074
科目	本年度末	前年度末	増減
負債及び純資産の部合計	9,843,735	9,750,873	92,862

### 4. 財産目録

資産総額98億5,200万円の内訳は、基本財産58億100万円(58.9%)、運用財産36億9,400万円(37.5%)、収益事業用財産3億5,600万円(3.6%)、となっており、また、負債総額10億2,300万円の内訳は、固定負債4億300万円、流動負債6億1,300万円、収益事業用負債650万円となっています。資産総額から負債総額を差引いた正味資産は88億2,900万円、前年度比9,500万円増となりました。

財産目録 27年度 (総括表) (平成28年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,851,607
内 基本財産	5,801,451
運用財産	3,693,875
収益事業財産	356,281
II 負債総額	1,022,596
III 正味財産	8,829,011

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	5,801,451
有形固定資産	5,740,691
土地	1,889,400
建物	3,398,204
構築物	67,296
教研機器備品	205,552
管理用機器備品	12,564
図書	163,571
車両	4,104
その他の固定資産	60,760
借地権	59,900
電話加入権	860
2. 運用財産	3,693,875
現金預金	1,409,079
定期預金	330,000
有価証券	1,500,000
差入保証金	9,078
退職給与引当特定資産	23,115
減価償却引当特定資産	394,791
未収入金	24,602
販売用品	47
前払金	2,929
立替金	1
仮払金	234
3. 収益事業用財産	356,281
土地	185,313
建物	154,110
構築物	314
現金預金	16,503
前払金	40
資産の部合計 (A)	9,851,607

負債額	
1. 固定負債	402,751
長期借入金	97,760
退職給与引当金	304,991
2. 流動負債	613,320
短期借入金	12,220
未払金	21,100
前受金	521,352
預り金	52,401
研修旅行費預り金	6,247
3. 収益事業用負債	6,526
前受金	1,296
未払法人税	230
預り保証金	5,000
負債の部合計 (B)	1,022,596

正味財産 (A) - (B)	8,829,011
----------------	-----------

### 5. 5カ年連続消費収支計算書 (27年度)

平成23年度から27年度までの連続消費収支計算書は、別表のとおりです。  
(注 27年度の計算書は、事業活動収支計算書を消費収支計算書に変換して表示)

### 5カ年連続消費収支計算書 (27年度)

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		全国平均
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	医歯系を除く
収入の部	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	%
学生納付金収入	1,018,198	79.1	1,048,125	75.2	1,122,634	76.8	1,173,056	81.5	1,117,494	79.8	69.5
手数料収入	22,480	1.7	31,033	2.2	23,097	1.6	22,737	1.6	22,666	1.6	2.3
寄付金収入	12,563	1.0	10,639	0.8	10,820	0.7	10,714	0.7	10,847	0.8	3.9
補助金収入	176,246	13.7	171,929	12.3	157,819	10.8	147,682	10.3	144,752	10.3	12.2
資産運用収入	18,030	1.4	26,977	1.9	36,499	2.5	49,610	3.4	63,031	4.5	2.5
資産売却差額	0	0.0	228	0.0	11,859	0.8	21	0.0	0	0.0	1.8
事業収入	7,384	0.6	10,712	0.8	11,829	0.8	18,939	1.3	13,805	1.0	4.8
雑収入	31,840	2.5	94,875	6.8	87,869	6.0	16,348	1.1	27,375	2.0	2.9
帰属収入	1,286,741	100.0	1,394,518	100.0	1,462,426	100.0	1,439,107	100.0	1,399,970	100.0	100.0
基本金組入額	△ 67,266	△ 5.2	0	0.0	△ 119,019	△ 8.1	△ 229,631	△ 16.0	△ 47,239	△ 3.4	△ 13.6
消費収入合計	1,219,475	94.8	1,394,518	100.0	1,343,407	91.9	1,209,476	84.0	1,352,731	96.6	86.4
支出の部											
人件費支出	690,358	53.7	795,858	57.1	782,114	53.5	705,740	49.0	718,956	51.4	50.9
教育研究経費支出	443,373	34.5	436,638	31.3	459,266	31.4	491,096	34.1	469,796	33.6	31.2
(うち減価償却額)	(195,224)	(15.3)	(186,976)	(13.4)	(177,544)	(12.1)	(196,362)	(13.6)	(199,507)	(14.3)	(9.6)
管理経費支出	106,059	8.2	103,725	7.4	105,488	7.2	109,686	7.6	107,821	7.7	9.0
(うち減価償却額)	(11,533)	(0.9)	(10,215)	(0.7)	(9,066)	(0.6)	(9,739)	(0.7)	(9,569)	(0.7)	(1.1)
借入金利息支出	3,080	0.2	2,859	0.2	2,640	0.2	2,419	0.2	2,200	0.2	0.2
資産処分差額	10,478	0.8	24,574	1.8	13,377	0.9	18,718	1.3	2,065	0.1	1.5
徴収不能額	2,795	0.2	3,658	0.3	1,990	0.1	2,220	0.2	4,060	0.3	0.1
(予備費)											
消費支出合計	1,256,143	97.6	1,367,312	98.0	1,364,875	93.3	1,329,879	92.4	1,304,898	93.2	92.8
当年度消費収支差額	△ 36,668		27,206		△ 21,468		△ 120,403		47,833		
前年度繰越消費収支超過額	△ 477,920		△ 514,588		△ 318,463		△ 319,678		△ 440,081		
基本金取崩額			168,919		20,253						
翌年度繰越消費収支超過額	△ 514,588		△ 318,463		△ 319,678		△ 440,081		△ 392,248		
人件費依存率		67.8		75.9		69.7		60.2		64.3	73.3
人件費比率		53.7		57.1		53.5		49.0		51.4	50.9
帰属収支差額比率		2.4		2.0		6.7		7.6		6.8	7.2
消費収支比率		103.0		98.0		101.6		110.0		96.5	107.5

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」  
大学法人（医歯系を除く）26年度

## 学校法人東京聖栄大学 創立70周年記念事業募金についてのお祝い

本学園は、昭和22年4月オリムピア洋裁学院として創設し、昭和29年に聖徳高等栄養学校（聖徳栄養専門学校、東京聖栄大学附属調理師専門学校に校名変更）を設置、その後、昭和38年に聖徳栄養短期大学、昭和52年に千葉県鎌ヶ谷市にわたなべ幼稚園開園、平成17年4月には短期大学を改組し東京聖栄大学を開学するなど、大学、専門学校、幼稚園を擁する総合学園として、新たな歩みを続けております。

この間、年次計画に基づき、新校舎の建築、老朽校舎の改築・改修にも着手し、最近では大学7号館を建設、幼稚園の給食施設の改築など、教育・研究環境整備に取り組んでまいりました。

今後とも、長年培ってまいりました、食と栄養に関する伝統ある本学園の教育をさらに活かし、有為の人材を育成してまいります所存でございます。

本学園は、来年（平成29年）創立70周年を迎えることとなりました。創立70周年記念事業につきましては、予てから検討されてきましたが、教育・研究環境の整備を図ることを目的として、老朽化した講堂の全面改修工事を実施することいたしました。

このため、創立70周年記念事業推進のため、広く皆様方にお呼びかけし、募金活動を行うこととなりました。

つきましては、現在の経済情勢のもとで、重ねてのお願いで誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解を賜り、この寄付募金にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この寄付金は、**個人の場合は特定公益増進法人への寄付金として所得税法による減免税措置（税額控除）が受けられます。**また、**法人の場合は、日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金として、寄付金の全額を損金に算入することができます。**

### 募金要項

1. 目的：創立70周年記念事業に充当するため
  2. 記念事業：講堂改修事業
  3. 募金目標額：1千万円
  4. 寄付金額：個人 1口 2万円  
法人 1口の金額は特に決めておりません
  5. 募金期間：平成29年3月末まで
  6. 申込・振込方法：本学所定の用紙をご利用ください。
- ◎この寄付金は任意であります。何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◎この募金は、個人の場合は所得税法により税額控除が受けられます。法人の場合は受配者指定寄付金として全額損金に算入することができます。詳細については下記にお問い合わせください。
- 学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係 TEL 03-3692-0211代

### 募金受入状況

平成17年度から27年度までの募金受入状況は下表のとおりです。  
この募金は、別口座に積み立てられ募金の趣旨に則り、有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額(円)
平成17年度	33	3,150,000
18年度	37	3,500,000
19年度	33	5,950,000
20年度	28	5,700,000
21年度	18	4,100,000
22年度	53	7,665,000

年度	申込件数	金額(円)
23年度	50	6,790,000
24年度	110	7,910,000
25年度	130	8,395,435
26年度	137	6,855,000
27年度	139	8,280,000
総計	768	68,295,435

## 東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園だより

園長 萩原 和代

わたなべ幼稚園は市内では数少ない自園式給食を活かした食育活動・指導を推進しています。

ここ数年、東京聖栄大学の学生さんの指導により年長組が食育実習を続けています。

「食育」と言うテーマは大きなテーマですが、自分たちが参加し、大学のお兄さん、お姉さんに手伝っていただきながら、自分たちで料理を作り上げていく喜びを感じているようです。食育を身近に感じてもらえれば偏食や咀嚼、嚥下などの大切さも分かり、何より食の楽しさを感じてもらうことがとても大切です。

昨年度はお米の粉を使った米粉ピザに挑戦いたしました。

米粉に水を加え、こねていくとみるみるうちに固まり生地になる変化に子ども達もびっくり。実際に手で感触を確かめながらの体験は子ども達には大きな感動のようでした。



作った生地にトマトソースを塗って、ここからは子ども達の出番です。ひき肉、ズッキーニ、パプリカ、チーズをトッピングしていきます。「おいしそうだね」と思わず本音が！グループのお友達と和気あいあいと楽しみながらの盛り付けでした。

最初に大学のお兄さん、お姉さんに3色食品群についてや、バランスよく食べることの大切さを着ぐるみ人形劇やお話で楽しく教えてもらったお陰で、おいしい米粉ピザは、とっても良く食べ、残食がほとんどありませんでした。

28年度も大学との食育体験プログラムを行います。子ども達の新しい発見や感動を期待しています。



## 東京聖栄大学附属調理師専門学校だより

校長 阿左美 章治

今年で調理師専門学校の勤めも2年目を迎えました。二足のわらじのこの一年で気づいたことの一つに大学との養成期間の違いがありました。専門学校としては当たり前のことですが、限定された養成期間内の養成内容の充実と仕上げは大学とは大いに違い一年後には実社会へ学生を送り出すことの厳しさ、難しさを求められます。食品衛生に代表される座学の重要性は社会からの趨勢であり、その学習強化を本校および本学大学講師陣の協力のもと進める一方、学習意欲一杯の調理実習には実習担当の先生から効果的な指導の下、重ねての実技充実を学生に求めました。特に、西洋、製菓、日本、中国、集団調理の5ジャンルのトータル学習は、バラエティさと実践力向上に富んだものであり、課外の包丁実習等基礎調理の修練は1年制調理師専門学校としては特に秀でた養成システムと自負しております。卒業生からは、就職先での包丁の扱いなど基本技術においては予想以上のお褒めを頂いたなど報告がきています。

ところで今度の勤めで私は、本校2度目の勤務となります。今から30年以上も前になりますが当時は昼と夜の2部制で、多くの学生さん達が学んでいました。夜間部は修業年限1年半で3クラス制総勢約200名程の学生さん達が昼間の仕事を終えたのち楽しく熱心に学んでいました。私は夜間部の担任で毎

晩ワイワイガヤガヤ楽しかったです。勿論、昼間は2クラスの学生さん達が調理師を目指していました。5年ほどの勤務でしたがその後は前任の平澤校長先生らに引き継いだ次第です。本校の長い歴史は昼、夜間問わずより良き同窓会の活動として引き継がれて現在に至っています。今、気になっているのは当時の学生さんはもとより現在に至るまでの卒業生たちの動向です。各職場での活躍情報は勿論のこと、近況報告を含め種々の情報をどのように共有し合っているのかないのか大いに気になるところです。ましてや一世代前の卒業生たちの連絡はどうかと心配している次第です。聞くところによれば同窓会の総会はオリンピックの開催年に開かれると聞きました。今はちょうどその年に当たります。このことから今年度開催の学園祭にはより多くの卒業生の参加をいただき、学園祭の場が同窓会総会を通じ大きな活動に繋がることを期待します。



## 大学トピックス

### 「Lサポ」による学修支援

学生自らが基礎的・専門的な素養を修得し、自ら課題解決する学びの場を設けています。「聖栄ラーニングサポートセンター」通称「Lサポ」(Learning Support)といます。

平成27年10月から本学4号館4階に開設し、平日8:45～19:00、土曜8:45～12:30の利用を可能にしています。学生の主体的かつ自由な学びを大切にして、例えば「化学の基礎力をもっと身に付けたい」「英会話の力を充実させたい。英検の勉強をしたい」「MOSや漢検について学びたい」「日々の授業の復習をしたい」などのニーズに応じられるセンターになっています。

多くの学生が自らの学びをより豊かなものにしていけるように、今後もその条件整備の充実に取り組んでいきます。



主体的な学修の場

### 教職課程 (栄養教諭)

子ども達が生涯にわたって健康な生活を営めるように「食に関する指導」の中心となる「栄養教諭」が全国の小・中学校に配置され始めています。「食を通して健康に」というテーマが学校教育の中に取り入れられることになりました。本学では、平成26年度より教職課程が創設され栄養教諭一種免許状が取得可能となりました。管理栄養士の国家試験受験資格を取得することも容易ではない状況の中で56名(2、3年生の教職履修者)の学生達は、日頃の教職に関する授業はもとより2年時の学校ボランティア実習、更には4年時の栄養教育実習の準備など目的に向かい切磋琢磨し、お互いを高め合いながら日々努力をしております。



教職課程・授業風景

## 平成29年度 東京聖栄大学 学生募集要項

### 東京聖栄大学 健康栄養学部 (共学) / 管理栄養学科・食品学科 (募集定員は両学科とも80名)

入試区分	試験日	選抜方法
自己推薦入試 (食品学科のみ)	I期 平成28年11月6日(日)	基礎学力検査・調査書・面接・自己推薦書
	II期 平成28年12月18日(日)	
指定校制推薦入試		調査書・面接
公募制推薦入試 I期	平成28年11月6日(日)	適性テスト・調査書・面接 ※卒業生子女等のみ志望理由書も必要
公募制特別推薦入試		
卒業生子女等推薦入試		
公募制推薦入試 II期	平成28年12月18日(日)	基礎学力検査・調査書・面接

※公募制特別推薦入試は、専門学科・総合学科卒業(見込)生選抜入試です。  
※各入試の詳細は本学ホームページ又は「平成29年度学生募集要項」で確認してください。

入試区分	試験日	選抜方法
一般入試	I期A 平成29年1月25日(水)	学力試験・調査書
	I期B 平成29年1月27日(金)	
	II期 平成29年2月13日(月)	
大学入試センター試験 利用入試	I期 平成29年1月14日(土) 1月15日(日)	平成29年度大学入試センター試験成績・調査書
	II期 平成29年3月10日(金)	
3月入試	平成29年3月10日(金)	学力試験・調査書
社会人特別入試	平成29年2月13日(月)	学力試験・小論文・面接・経歴書・調査書

### 受験相談会

10/15 (土)

11/26 (土)

※11月12日(土)、13日(日)は聖栄葛飾祭(大学祭)にて受験相談コーナーを開設します。

■開催時間: 各回とも13:00～16:00要予約 ■当日の内容: 平成29年度入試の概要説明、個別相談、施設見学 他

<お問い合わせ先>

入試・広報課

TEL: 03-3692-0238(直通)

E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

発行 東京聖栄大学

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL: 03-3692-0211 (代)

URL <http://www.tsc-05.ac.jp/>